



エネルギー部門

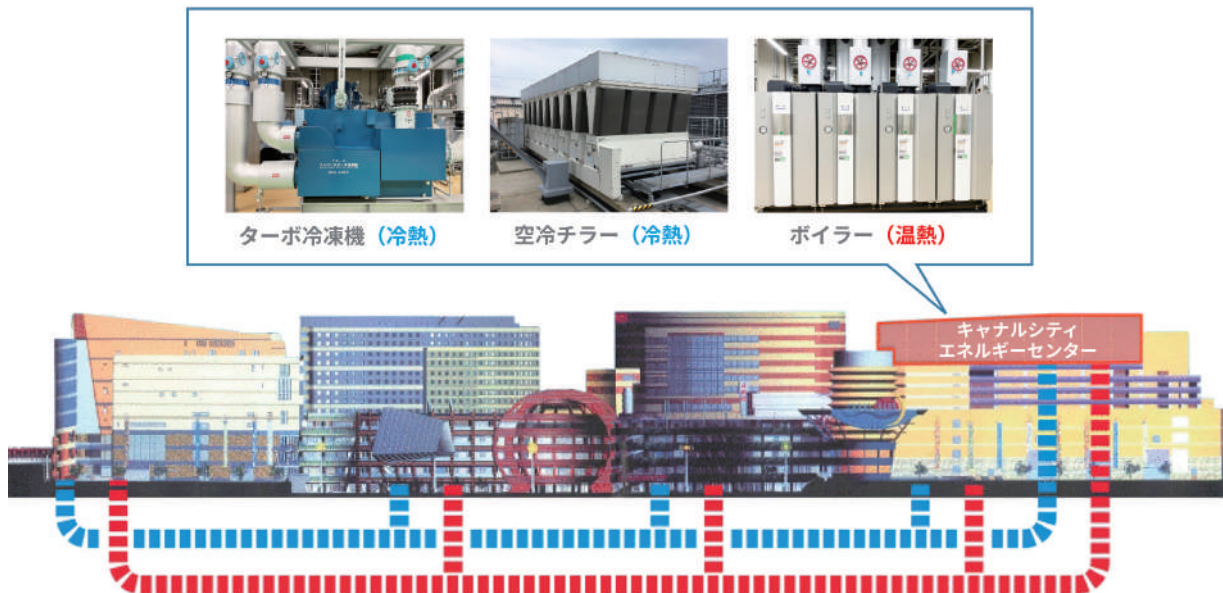
明日のエネルギーのことまで考えて、 都市や企業のライフラインを支える。

電気、ガス、水は、私たちの暮らしに欠かせないライフラインとなるものです。私たちサン・ライフは、自ら冷熱・温熱を生み出し、キャナルシティ博多の商業施設、ホテル、オフィスなどに冷水・温水などをお届けしてきました。その培ってきたノウハウを活かし、サン・ライフは今、人や街だけでなく環境を守ることにもつながる価値ある挑戦を始めています。そのひとつが環境負荷低減につながる太陽光発電の推進であり、もうひとつが井水プラントによる水のリサイクルです。今はもちろん未来が安心・快適であることを願って、サン・ライフはエネルギー事業の領域をさらに拡げていきます。



地域冷暖房で、効率的に熱を生み出し届ける。

熱供給事業のステージとなるのが、「キャナルシティ博多エネルギーセンター」です。具体的には、一極集中で電気・ガス併用方式による熱を生み出し、キャナルシティ博多の4つの建物に安定してお届けする「地域冷暖房」を行なっています。エリアでまとめて冷暖房や給湯を行うことは、ムダを省くだけでなく高い省エネ効果によってCO2削減につながられます。また、ビルごとに熱源や空調設備を置く必要がなく、お客様にとっても設置やメンテナンスにかかる費用が不要となるため、経済的にも低コストで安定した熱供給を実現できます。



太陽光発電事業【新規事業予定】

太陽光など再生可能エネルギーにシフトする。

サステナブルへの取り組みも、サン・ライフの大きな使命です。具体的には、環境負荷低減のために、私たちはクリーンエネルギーである太陽光発電へのシフトを進めています。そのスタートとして、グループ会社が保有している物流施設の屋根に太陽光発電設備を設置、同設備で発電した電気は同施設で消費し（自家消費）、余剰電力は天神のオフィスビルに供給する（自己託送）という計画を進めています。

また、カーボンニュートラルの実現に取り組む様々な企業の皆様に対しても、私たちの再生可能エネルギー事業がなにかお役に立てればと考えています。



井水プラント事業【新規事業予定】

井戸水を飲料水へ、水のリサイクルを実現。

サン・ライフでは新たな試みとして、井戸水を飲料水に生まれ変わらせる井水プラント事業の計画を進めています。プラントを回し地下水（井戸水）を浄化して飲料水に仕上げ、キャナシティ博多の各テナントにお届けすることはエネルギーの有効利用につながります。また、断水や災害時でも営業に必要な水をしっかりと確保できるため、事業継続の面でも大いに役立つことができます。つまり、ライフラインを支えることに直結する水のリサイクルは、社会的にも価値の高い事業であると言えるのです。

